

「アジアンビートプロジェクト2015」報告書

「アジアンビートプロジェクト」はコモンビートとOCAが歌とダンスを通じて、国際交流を図る共同プロジェクトです。「アジアンビートプロジェクト」も今年で3年目、2015年は台湾の学生達と一緒にタイを訪問することにしました。

Tokyo

9月11日～16日まで11人の台湾の学生が来日し、千葉県市川市の少年自然の家でコモンビートの80人のメンバーと合同合宿を行いました。来日した台湾の学生は台湾の4つの大学から選抜されたメンバーです。11月に行われるタイ訪問の公演プログラムの作成、歌とダンスの練習、キャンプファイアーを楽しみました。



10月7日～10日までコモンビートの2人のメンバーが台中に出張し、台湾の学生のパフォーマンスを指導しました。

Taichung

10月31日日本から27名のメンバーが台北経由台中に到着し、台湾のキャスト9名と合流してリハーサルに入りました。11月1日は公演会場に350人の観客が集まり、第一回の合同パフォーマンスを行いました。プログラムは台湾と日本のキャストが英語、台湾語、日本語をすべて覚えて一緒に歌いそして踊るプログラムとしました。最後は観客も一緒に踊り出すことになりアンコールが叫ばれるほどの公演となりました。



11月2日3人の台湾キャストが所属する中臺科技大学を訪問し、交流会を行いました。大学の校長、日本語教授も参加し、短い時間でしたが多くの学生と交流ができました。



Bangkok

11月2日36人のキャストは台北経由バンコックに向かいました。チュラロンコン大学 Sasa International House で行われる歓迎会に出席するためです。歓迎会には約60人のチュラロンコン大学の学生が待っていました。その中には今年5月に名古屋、東京を訪問した15名の学生もおおり、懐かしい友人との再会となりました。



11月3日はチュラロンコン大学 Alumni Hall に70人の学生を集めて交流会を行いました。プログラムは台湾ポップス、民謡、日本のアニメソング、清元、タイポップス、タイで人気のダンスと続き、最後は観客全員でダンスを楽しむプログラムとなりました。



11月4日は終日自由行動の日とし、キャストはタイの学生達とアユタヤを訪問して象に乗り、川下りをし、バンコックの街を一緒に歩いて観光を行いました。

Chiang Rai

11月5日朝早く飛行機でチェンライに向かいました。山岳民族の孤児院「メイコックファーム」を訪問して交流会を行うためです。メイコックファームはタイ人のピパットさんが設立し、聖学院中学高校の戸邊先生が運営を助けてきました。日本軍は第2次大戦の時にアヘンを栽培して北部タイで販売し、活動費の一部としてきました。戦後長くアヘンの影響で山岳民族の村が疲弊し、麻薬撲滅運動とともに多くの孤児が残りしました。メイコックファームは山岳民族の孤児を養育する施設として活動しました。毎年ここを訪問する楽しみは近くで象乗り、温泉、マッサージを楽しむ、夜は満天の星空を見ることが出来るからです。山岳民族の村々を訪問するのも楽しみの一つです。山岳民族の村の人たちを夕食にご招待して今年も performance の交流会を行いました。我々が一つ performance を行うと子供たちが山岳民族の衣装で踊りを披露してくれました。交互に歌や踊りを披露し、最後に皆で踊って騒ぎました。今年も夜空の星が輝いていました。



Chiang Mai

チェンライからチェンマイまでバスで5時間程度かかりました。今年もメイコックファームのアノラックさん、デイアーさんがチェンマイまで一緒に見送りに来てくれました。チェンライ、チェンマイの旅にはチュラロンコン大学の3人の学生が同行し、バスの中で日本、台湾の学生と親しく話す時間となりました。また交流会の司会も務めてくれました。

11月7日チェンマイで名取美和さんが運営するHIV感染孤児の孤児院バーンロムサイを訪問しました。今年も子供達にお土産を持って行き歌と踊りを披露しました。名取美和さんからのお話もあり、子供達と昼食を共にしてバーンロムサイを後にしました。



台湾からバンコック、チェンライ、チェンマイとずいぶん内容の濃い訪問でしたが、あっという間の時間でした。チェンマイからバンコックへ戻りキャスト全員でさよなら会と振り返りの話し合いを行いました。今回は台湾の学生が参加したことで英語でのコミュニケーションの機会が多くなりました。そしてタイ・台湾に多くの友達もできました。来年も台湾・タイ訪問の学生交流プログラムを続けてゆきたいと考えています。

以上